

第4期協働によるまちづくり 推進計画の策定に向けて ニュースレター vol.2



第2回 策定委員会

2025年4月27日(日)

15:15～17:15

廿日市市役所 7階会議室

第2回の策定委員会は、協働によるまちづくりを推進するために特に強化すべき取組について、意見交換をしました。

まちづくり活動団体アンケートや廿日市市協働によるまちづくり審議会における意見などに基づいて設定した、次期計画において特に強化すべき4つのテーマについて、現状の課題等を踏まえ、行政や市民等が取り組んだらいいことなどについて意見を出し合いました。



特に強化すべき取組(4つのテーマ)

地域等がつながる 「円卓会議」の活発な活用

【役割や目的】

多様な主体がつながり、地域等の課題や互いの取組を共有する場となる。また、課題を共有した主体がつながり、役割分担しながら解決したり、新たな取組等が生まれたりするなど「協働によるまちづくり」の苗床となる。

まちづくりに関わる 「人材の確保や育成」

【役割や目的】

まちの魅力向上や課題解決を、そこに暮らしている市民等が主体的に取り組んでいくことで、地域への愛着の醸成やより安全・安心な暮らしやすい持続可能なまちになる。

まちづくりを支える 「環境(拠点等)の整備」

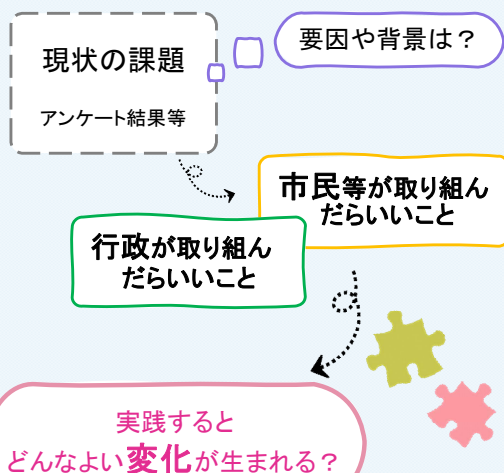
【役割や目的】

市民センターや支所、本庁、市民活動センター等が「まちづくりの拠点」として、ハード・ソフトの両面で、市民の自主的なまちづくり活動を支えていく必要がある。

持続可能な活動につなげるための 「コミュニティビジネス」の推進

【役割や目的】

地区や地域等のお困りごとを、無償のボランティア等の共助の仕組みで行うだけでなく、ビジネスの視点も取り入れ、有償で行うなど、持続可能な活動にしていく。



- 行政や市民など、それぞれが「取り組んだらいいこと」を実践することで、地域への愛着が深まったり、活動が継続しやすくなるなどの変化が起こるといった意見が出てきました。
- 今回の意見は、次期計画における取組方針(市の取組)や成果指標(まちや市民等の状態)などの検討に活用します。

第3回策定委員会について

第1回、第2回でいただいた意見やアンケート調査等を踏まえ、職員ワーキングで作成した第4期協働によるまちづくり推進計画素案(仮)を確認・調整し、正式な素案を作成していきます。